

『生涯学習講座』のご案内

村では、中日文化センター協力のもと総合文化交流施設で3つの生涯学習講座を開設しています。随時、講座の受付を行っておりますので、お申し込み・お問い合わせは白川村教育委員会までご連絡ください。

キッズファンク・ジュニアファンク

毎週木曜日

キッズ(園児・小学低学年)午後5:00~6:00

ジュニア(小学生~)午後6:00~7:00

音楽にあわせてみんなで楽しく踊りましょう。集中力や協調性が身に付きます。発表会やイベント出場も楽しみです。



いきいき健康ヨガ

毎週月曜日 午後7:00~8:30

初めての方も、体力のない方も、年齢を問わず参加できます。ストレス、肩こり、腰痛、不眠、ダイエットなどにも効果的!心と体をリフレッシュしましょう。



絵手紙教室

毎月第3金曜日 午後1:00~3:00

身近な花や風景をハガキや巻紙に描いてみませんか。上手な絵でなくてもいい。自分流でいい。自分の字や言葉で魅力ある絵手紙を描けるようにするためのコツを指導します。※冬期はお休みします。



遅く自分のために、我が子のために、皆さんの受講をお待ちしております。

●お問い合わせ 白川村教育委員会 社会教育係 TEL6-1311

『岐阜県図書館』図書貸し出しについて

村民皆さんにより多くの図書をご利用いただくため、岐阜県図書館と連携して岐阜県図書館所蔵の図書を無料で貸し出しできるサービスを実施しております。貸出し方法や貸出しのルールなどは次のとおりです。お気軽にご利用ください。



貸出方法

①借りたい本の「タイトル」と「著者名」を電話・FAX・E-Mailなどにより、教育委員会までご連絡ください。

TEL 6-1311 FAX 6-0016 E-Mail kyouiku-shougaikyouiku@vill.shirakawa.lg.jp

・受付時間 9:00~17:00(土・日・祝祭日を除く) ※ただし、FAX・E-Mailは24時間受付可能です。

②教育委員会が県図書館に貸出し申込みをします。

③本が届いたら、電話、FAX、E-Mailなどによりご連絡をさせていただきますので、役場教育委員会まで受け取りに来てください。

・受取時間 午前9:00~午後5:00(土・日・祝祭日を除く)

※県図書館において「貸出し中」「予約待ち」の状態にある図書は、こちらに届くまでに時間がかかることがあります。

ルールとマナーを守りましょう

・返却期限を守りましょう・・・貸出期間は2週間以内です。

※図書の返却が遅れると、その期間は県図書館から本が借りられなくなります。他の人にも迷惑がかかるので、期限厳守をお願いします。

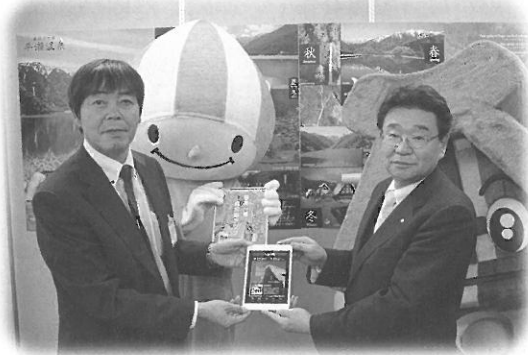
・1回の申込みで借りられる冊数は5冊まで・・・返却は白川村教育委員会までお願いします。

不明な点やご意見等ございましたら教育委員会までご連絡ください。

●お問い合わせ先 白川村教育委員会 社会教育係 TEL6-1311

『世界遺産白川郷アプリ』を開発

観光スポットや写真スポットなど便利な機能で白川郷の魅力を発信します！



1月23日(木) 役場において「世界遺産白川郷アプリ」の発表会が行われました。岐阜県と白川村では「世界遺産白川郷・五箇山の合掌造り集落」への観光客誘致活動の一環として、iPhone用アプリの『世界遺産白川郷アプリ』を開発。本アプリには、白川郷の「観光スポット」や地元お薦めの「写真スポット」、四季折々の「写真ギャラリー」、現地で答えをみつける「クイズラリー」など、使う方に楽しんでいただけるコンテンツが満載です！

また、twitter(ツイッター)の投稿機能を利用した「混雑状況なう」では、みなさんのつぶやきで白川郷周辺の混雑状況を予測することも可能です。今回の開発には「岐阜県版スマートフォンアプリ開発

人材育成事業」の研修生が携っており、今後も本アプリを活用して岐阜県と白川村の観光振興を推進すると共に、岐阜県全体がスマートフォンアプリ開発の一大拠点であることをPRします。

対応端末をお持ちの方は、ぜひダウンロードしてご利用していただき、白川郷を訪れるたくさんの方々にご紹介ください。

「世界遺産白川郷アプリ」

- ◇公開日 1月23日(木)
- ◇対応端末 iPhone・iPad
- ◇ダウンロード料金 無料
- ◇著作権者 岐阜県
- ◇ダウンロード方法 AppStoreの検索ページに接続してキーワード「世界遺産白川郷」で検索するとアプリが表示されます。アプリを選択して「無料」ボタンをタップしてください。



●問い合わせ先 観光振興課 商工観光係 TEL 05769-6-1311

「第3回ぎふグリーン・ツーリズムネットワーク白川郷大会」

地域資源を活かした農山村の魅力と可能性を情報発信！

開催

1月22日(水)・23日(木) 岐阜県、岐阜県グリーン・ツーリズム推進連絡会議が主催する「第3回ぎふグリーン・ツーリズムネットワーク白川郷大会」がトヨタ白川郷自然学校をメイン会場に開催され、グリーン・ツーリズム実践者や関係者ら約100名が参加しました。今回のテーマは「地域の特色を活かしたグリーン・ツーリズム」として、白川郷の自然体験や分科会、パネルディスカッションなどを実施。分科会では「食」「外国人旅行者」「人材」の3つのテーマに分け、地域ならではのおもてなしを考えました。「食」のおもてなしについて考えた第1分科会では、「食を伝えるためにはその文化も併せて伝えることが大切」など、たく



スノーシューで豪雪体験「雪の森ガイドウォーク」



第1分科会「地域ならではの食を考える」



交流会の「報恩講料理」

さんの意見が出され、議論が重ねられました。また分科会終了後、鳩谷コミュニティ会館で行われた交流会では、平瀬地区農業を楽しむ会による「報恩講料理」が振る舞われ、参加者は白川郷伝統の味を楽しみながらの有意義な意見交換の場となりました。



パネルディスカッション



わたしたちの日本一美しい村

2014

広報

しらかわ

1/26 (日)

鍋特集号



第10回ニッポン全国鍋合戦 「白川郷飛騨牛すったて鍋」優勝!

(26) 白川郷飛騨牛すったて鍋

白川郷鍋食い隊



初参戦! 初優勝!

白川郷鍋食い隊が第10回ニッポン全国鍋合戦にて悲願の初参戦、初優勝を果たしました! 得票数は2位に460票の大差をつける1660票、過去9回の大会の中で最高得票数での優勝となりました。また今回の大会では、初めてネットによる『食べてみたい鍋総選挙』が実施され、その部門でも白川郷鍋食い隊が1位に選ばれ、優勝とのW受賞を果たしました。白川郷鍋食い隊の総括リーダーである松本継太さんは「とにかくうれしい。一つの目標が達成されたが、最終目標としてはこの鍋を地域展開させることだと考えている。今後もこの勢いのまま頑張っていきたい。」と壇上で話しました。

白川郷鍋食い隊が出店した鍋は、今回のために開発した「白川郷飛騨牛すったて鍋」で、東海地区からは初めての参戦となりました。白川村の伝統料理である『すったて』をベースに岐阜県の特産である飛騨牛、白川村産のさくらげ等をトッピングした逸品となっています。すったて汁の特徴を十分に生かし大豆の風味をしっかりと残したスープに仕上げ、野菜やさくらげの食感、そして飛騨牛の旨味を十分に楽しめる「ひだ白川郷」らしい一鍋となっています。白川郷鍋食い隊はこの鍋の構想を完成させるまでに1年を費やし、鍋合戦ではお客さんを待たせないために1杯10秒で提供できるように試行錯誤の日々を続けてきました。

大会当日、会場である埼玉県和光市の市役所前広場には、6万人のお客さんが来場しました。お客さんは全国各地15都県から出店された43チームの鍋に舌鼓を打ち、心も身体も温まるひとときを過ごしました。白川郷飛騨牛すったて鍋にもたくさんのお客さんが行列をつくり、「おいしい! おいしい!」と自慢の鍋を食べていただきました。

白川郷鍋食い隊これまでの軌跡

◆白川郷鍋食い隊結成と白川郷すったて鍋の誕生

白川郷鍋食い隊の始まりは、昨年4月にさかのぼります。景色だけではなく味でも有名な白川村を作ろうと、村民の有志が集いこの企画が始まりました。最初に集まったのは平瀬地区住民を中心に事務局を含め、11人のメンバーでした。第1回会議では、一部のメンバーが見てきた第9回大会の様子を報告しました。鍋合戦であれば味でも有名に出来るのではと提案し、早速試作考案とメンバー集めに取り掛かりました。

5案作ったレシピを3案に絞り、第1回試食会が行われました。3案食べたメンバー全員の意見は、白川村の伝統料理であるすったてをベースにした鍋であれば、白川村らしいアピールが出来るのではないかとすることで決定しました。しかし原案のままでは具材の盛り付け方やすったてスープの濃度の加減、飛騨牛の調理方法に難点があるため、7月7日に行われる雪おくりまつりでの販売アンケート調査を踏まえて改良していくということで話がまとまりました。



◀ 第1回試作会の様子

◆雪おくりまつりを終えての課題、第1回白山・白川郷ウルトラマラソンでの1000杯提供も

▶ 雪おくりまつりでの提供



白川郷鍋食い隊の地元デビューである、雪おくりまつりの日を迎えました。当日は大雨で開催が危ぶまれていましたが、鍋の提供が始まると予想を上回る200人ものお客さんが鍋を食べ、お昼過ぎには完売するほどの大盛況でした。しかし、すったての管理について勉強不足だった点、そして提供に時間がかかった点について、どうしたら味よく素早くお客さんに届けられるのかという課題が見えました。次の会議では早速、改良のために様々な食材、だしなどの意見を出し合い、新拠点である旧平瀬小学校での第2回試作会が行われました。調理手順からもう一度見直した結果、原型となる白川郷飛騨牛すったて鍋がついに出来上がりました。

9月に入り第7回会議ではウルトラマラソンでの提供について話し合いが行われました。今回の提供数は、今まで一度も経験したことのない1000食です。多くの方が食べるということで、前回試作会の調理手順と配合をおさらいし、前日準備と当日の動きを念入りに確認しました。その結果、ピーク時には大会本番をイメージできるような提供速度を経験することが出来ました。またランナーや地元小学生からも、とてもおいしかったという話も聞くことができました。後からメンバーに話を聞くと、このウルトラマラソンを経験してから鍋の調理に関しても提供に関しても自信がついたということが分かりました。

◆南部地区でのお披露目会、悲願の優勝獲得、今後の展開は…

ウルトラマラソンで自信のついた白川郷鍋食い隊一同は、その後も試作会を重ねつつ、地域での出展を行っていきました。そして鍋シーズンに入った12月12日、試行錯誤を重ねついに完成した「白川郷飛騨牛すったて鍋」のお披露目会が行われました。お披露目会には南部地区の方100人が鍋を食べ、白川郷鍋食い隊の優勝にエールを送りました。同時期に第10回大会を記念して行われた、インターネットによる食べてみたい鍋総選挙も開始されました。フェイスブックなどによる呼びかけの効果もあり、投票が始まってから終わるまで1位を維持しました。そしてこの頃にはメンバーの数も43人に増え以前より和気あいあいと活動し、本番が近づくにつれてメンバーの士気もあがっていきました。

年を越し、ついに本番当日。前日からそわそわしていたメンバーでしたが、開始30分前からの行列、そして提供開始から1時間半で完売してしまったことには驚きと感動と嬉しさで一杯でした。発表される直前にはメンバー一同落ち着かず、名前を呼ばれた際には飛び跳ね号泣しました。今までのことを思い出しメンバー一同抱き合い、喜びを分かち合いました。優勝から一夜明け反響は予想以上に多く、村内外から『すったて鍋を食べたい』などの問い合わせが殺到しました。これに対して一同はさらに驚き、多くの声に答えるための体制を早急に固め、2月から南部地域の飲食店・旅館で地域の展開を始めました。役場HPにも提供店舗に関する情報を掲載しました。今後は“味”の白川村を目指し、地域の名物料理として売り込んでいけるように盛り上げていきます。



▶ 優勝を喜ぶメンバー

白山白川郷トレイルクラブだより

VOL.1



昨年7月に山を楽しむ現代版の文化を創ろうと有志が集まり「白山白川郷トレイルクラブ」が結成されました。メンバーにはモンブランの会、山岳救助隊、猟師、トヨタ白川郷自然学校、日本山岳ガイド協会認定登山ガイド、観光協会など15名が関わっています。

自分たちが山で楽しみ、そしてその楽しさを大勢の方に伝えていこう。それも安全に楽しく提供できるようにと思い、今月号より連載します！



当面は歩いて楽しい山道・里道探しです。それも出来るだけ長くつなぎたいと考え、まずは井波の瑞泉寺～五箇山～加須良～野谷～木谷～大白川～白山～石徹白というコースをつないでみようとして盛り上がっています。このコースが出来ればまさにロングトレイルです。

ロングトレイルとは長い距離を歩きたいという人向けの山道で、必ずしも頂上を目指さないことが特徴です。中高年の健康ウォーキング志向と山ガールブームに後押しされて各地でトレイルが開通しています。白山白川郷トレイルクラブでは、今回整備するトレイルのマップおよび完歩証の管理とガイド育成・派遣に取り組む予定です。近い将来、白川村のあちこちでザックを背負った人たちが歩いている風景を作りたいと夢んでいます。山で遊ぶことが好きな方、ぜひ一緒に山へ行きましょう！

※3月15日に荻町南の尾根をスノーシュートレッキングする予定です。お客様をお呼びしてのモデルツアーです。興味のある方は事務局までご連絡ください。

●白山白川郷トレイルクラブ代表 蟻原 陽一 事務局：白川郷自然共生フォーラム ☎6-1185

第3回 白川郷コン! 開催

人と自然と暮らしに恋する2日間!

思いがけない出会いとあたたかいおもてなし...
美しい世界遺産でココロ癒される旅へ!

参加者を
募集します

定員50名
(男女各25名)



祝 第1回白川郷コン!
参加者が1組ご結婚
されました♪

白川郷コンとは?

白川村有志「白川郷コン!プロジェクト実行委員会」が主催するコミュニケーションイベントです。日本一美しい村・世界遺産白川郷で村内者と村外者の独身男女が様々なアクティビティを楽しみながら白川村ならではのおもてなしと思いがけない出会いを演出するのが、『街コン』ならぬ『白川郷コン』です!

この出会いをきっかけに白川村の定住対策『村の人口増加』へつなげます。
参加者だけでなく、村全体で『白川郷コン!』を盛り上げましょう!



スタッフ一同応援します!

開催日

2014.3/15(土)～16(日)

締切
3/2(日)

参加費

男性 11,000円 女性 5,500円 2日間のイベントです
(村内の参加者には、上記金額の7割を助成します)

参加
対象者

・20代～40代の独身男女
・白川村民や白川村に興味がある方、将来住んでみたい方

●お問い合わせ・申込み先

トヨタ白川郷自然学校 TEL 05769-6-1187
メール jim@f-ess.com (受付9:00～18:00)

詳細はホームページをご覧ください [白川郷コン!](#) [検索](#)

「白川郷コン!」に協力していただける
プロジェクトサポーターも随時募集中!

主催 白川郷コン!プロジェクト実行委員会



縁結なご

可燃ごみを減らすために

「始めようごみダイエット！」

毎日の心がけが減量へとつながります！

先月号で紹介した「生ごみの減量」に引き続き、「資源とごみの分け方」について紹介します。「資源回収」できるものを誤って「可燃ごみ」として出していないか？間違えやすいものを改めて確認し「可燃ごみ減量」のため、皆様のご協力をお願いします。

資源回収の対象になるもの

紙製容器包装類



このマークがついています

・主なものとして「食料品や日用品の紙製の箱、パック、フタ、袋、台紙」など。ポイント！「ワイシャツなど製品を保護する台紙、3個組プリン台紙、割りばしの袋」も出せます！
※汚れが付着して洗えない紙箱類は「可燃ごみ」に出してください。



プラスチック製容器包装類



このマークがついています

・主なものとして「食料品や日用品のプラスチック製のカップ、パック、トレイ、ボトル、袋」など。ポイント！「フタ、玉ねぎなどのネット、エアパッキン（プチプチ）」も出せます！
※結束テープやひも、油ボトルやマヨネーズ、歯磨きチューブなどの中が洗えないものは「可燃ごみ」に出してください。

発泡スチロール類

・主なものとして「食料品や日用品の発泡スチロール製のトレイ、魚箱」など。ポイント！「電化製品などを保護する発泡スチロール製緩衝剤」も出せます！
※リサイクルハウスで溶解するためシールやフィルムをはがしてください。

☆資源回収できるもので汚れが付着しているものは、さっと洗って乾かして出してください
なにげなくごみ箱に入れてしまうものも「資源」として分別できる「紙製・プラスチック製の容器包装類」などがありません。日頃のちょっとした心がけで「可燃ごみの減量」へつなげましょう！



●問い合わせ先 総務課 庶務・環境係 TEL6-1311

公益財団法人新谷育英会『選奨生』の募集について

公益財団法人新谷育英会では、平成23・24年度飛騨地域の高等学校を卒業し、平成24・25年度に大学又は短期大学に入学された方で、地域や社会に対する貢献に意欲があり、特に優れた資質を有し、経済的理由により修学が困難な方に奨学金を給付します。

◆基準

1. 世帯内の収入額合計及び固定資産税評価額合計が基準額以下であること（※基準額の例：両親と進学予定者1名の家族の場合は、収入額合計640万円以下、固定資産税評価額合計3,000万円以下であること）
2. 高校の全履修科目の平均の値が3.8以上であり、大学又は短期大学入学後の成績も優れていること
3. 修学に十分耐え得る健康状態であること
4. 地域及び社会貢献に意欲のあること

◆申請書類

高校成績証明書、高校卒業証明書、選奨生願書、所得及び資産証明（家族分及び必要に応じて本人分）、小論文（800字程度）等

◆提出期限

平成26年2月28日（当日消印有効）

◆支給金額及び期間

月額3万円（平成26年4月から最短修業年限の終期まで）

◆募集人数

若干名（応募者多数の場合は申請書類により選考します）

●問い合わせ先 公益財団法人新谷育英会事務局 TEL0577-35-3153